

科 目 名		学年	
環境科学 : Environmental Science		1PD	
教 員 名 樋口隆哉 : HIGUCHI Takaya			
単位	授業時間	科目区分	
2	100分×15回	選択	
授業形態 講義・前期			
授業概要 環境科学は、環境で生じている諸問題を科学的に理解しようとするものである。ここでは、環境に関する地球規模の、および日本における諸問題を具体的事例を交えて講義する。また、学生は自ら調査研究し、その成果をレポートとしてまとめる。			
到達目標		評価方法	
(1)環境を地球規模で捉えることができること。 (2)環境問題を科学的に把握することができること。 (3)グローバルに問題を考え、地域で問題解決の努力をするという基本姿勢を身につけることができること。 (4)プレゼンテーション・コミュニケーション能力を身につけることができること。		①期末試験(70%)、②自学自習によるレポート(20%)、③討論と発表(10%)によって評価する。	
学習・教育目標		(A)①	
		JABEE基準1(2)	
		(c)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	人類と地球環境	人類の開発行為が地球環境に与えた影響について学習する。
	第2	化学物質のリスク	化学物質が人間の健康に与えるリスクについて学習する。
	第3	人間と生物の共生	自然生態系の構成・機能を学び、人間生活と生物の共生について考える。
	第4	食糧問題	世界の食糧問題について学習する。
	第5	環境浄化技術1	大気の浄化技術について学習する。
	第6	環境浄化技術2	水の浄化技術について学習する。
	第7	環境浄化技術3	難分解性の有害物質に汚染された土壌の浄化技術について学習する。
	第8	産業と化学物質の管理	産業活動における化学物質の管理と法律について学習する。
	第9	地下資源	地球の地下資源の状況について学習する。
	第10	循環型社会1	廃棄物の現状と我が国のリサイクルの取り組みについて学習する。
	第11	循環型社会2	ゼロエミッションについて学習する。
	第12	公害史	我が国の公害史と解決に向けての取り組みについて学習する。
	第13	討論1	提示した環境問題を議題とし、グループごとに討論を行う。
	第14	討論2	提示した環境問題を議題とし、グループごとに討論を行う。
	第15	発表とまとめ	前半は討論結果をまとめたものをグループごとに発表し、後半は授業のまとめとアンケートを行う。
自学自習の内容		レポートを課す。	
関連科目			
教科書		環境科学(日本化学会編、東京化学同人)	
参考書			
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う。	
副担当教員			
備考			